

平成 23 年 4 月 13 日
青森労災病院 検査科 千葉祐二

東日本大震災派遣報告

派遣地 岩手県陸前高田市
対象避難所 高田第一中学校（1000 人規模、診療所常設）
米崎小学校（100 人規模）
慈恩寺（30 人程度）
高寿園（特別養護老人ホーム）
活動内容 避難者の深部静脈血栓症発症リスク調査
超音波検査による深部静脈血栓の有無とヒラメ静脈最大血管径
弾性ストッキング配布とその履き方指導
派遣期間 平成 23 年 4 月 1 日～4 日（実活動 4 月 2 日、3 日）
派遣スタッフ 弘前大学胸部心臓血管外科医師 2 名
超音波検査実施技師：青森県一 3 名
岩手県一 3 名
結果 総勢 74 名の超音波検査を実施
平均年齢 68.4 歳 男性：女性 23:51
車中泊経験者 8 人（10.8%）
下肢のむくみ、腫脹あり 19 名（25.7%）
深部静脈血栓陽性者 2 名（2.7%）
ヒラメ静脈最大血管径の平均 6.7%
ヒラメ静脈血管径拡大<8.0 mm以上> 30 人（40.5%）

上記より、今回の派遣について簡単にまとめ報告します。

思っていたよりも車中泊経験者が少なく、深部静脈血栓陽性者も多くはなかった。しかし、下肢のむくみや腫脹のある方、ヒラメ静脈血管径の拡大頻度が多いことから、今回の弾性ストッキング着用指導は、これから長期に及ぶ避難所生活において、エコノミークラス症候群の予防と啓蒙活動に大きく貢献したものとする。

